日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなろ

15年11月18日
第202号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154−0526
（部内資料）

参院選で統一候補の動きが 戦争法廃止へ全力！

日本共産党 演説会

大義に確信をもって打って出よう

12月12日、松戸森のホール21で日本共産党演説会が開かれました。会場周辺は右翼の街宣車が走り回り、たくさんの警官が警備についていました。

志位和夫委員長（写真左）は沖縄での各種選挙の勝利は「新基地反対」ということに大義があったからだと、ずばり指摘しました。今度の参議院選挙でも違憲の「戦争法反対」という大義に確信をもって戦っていこうと強調しました。「戦争法」の条文はどう読んでも、戦闘地域に行って米軍とともに戦争することを認めることです。簡単に言えば進んで戦争をするということです。抑止力が高まるとかということとは別の次元の問題です。

消費税増税に伴う「軽減税率」（これもまやかし）のことばかり騒いでいる今、「戦争法」をめぐる問題を忘れないためにも、戦争法反対の街頭宣伝や2000万署名活動が重要だと思います。

熊本県の参議院選挙の候補者一本化の動きはとても歓迎すべきものだと思います。これが全国に広がってほしいものです。それにしても戦争法成立の頃はあんなに取り上げていたマスコミも熊本県のこの動きを報道しないのは政治の本質を見失っていると批判されても仕方がないと思います。

（西深井　S）

参加者から

◆「国民政府実現への道筋がわかりやすく語られ、なんとしてもとの思いを強くしました。参院選勝利のため頑張りたい！」

東深井　Sさん

◆国民一人一人の幸せと今の平和を守るために志位先生の演説はほんとうに力強いものとなりました。

美原・S

◆テレビのニュースで安倍首相の顔が出るとイライラしていましたが、志位さんの話を聞いて気持がすっきりしました。そして、まだまだみんなで力を合わせなくてはと思います。

森のホールは音響がよいところです。次回もここで演説会の際には志位さんのピアノも聴いてみたいですね。「志位委員長のお話しとピアノ演奏が聴ける演説会！」4階席まで超満席になること間違いありません。

江戸川台東　NH

植田和子 議会報告会

1月31日（日）午後1時～

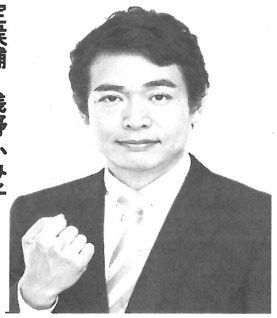
北部公民館1階第2会議室

みんなの力で立憲主義を取り戻そう！

12月議会の報告と参議院選挙で戦争法廃止の国民連合政府を

入場無料です。お誘いあわせておいでください。

再稼働やめ 原発から撤退を!!



上　3児の母　千葉選挙区予定候補　浅野ふみ子
下　参院比例予定候補　椎葉かずゆき　の両氏も決意表明

12月議会 一般質問

生保削減の中「市営住宅増設要望」の高まり

一、マイナンバー制度の施行について

①税の申告その他社会保障制度の申請時において、マイナンバーの記入がない場合も受理すべきと思うがどうか。②市当局のマイナンバーの管理を民間委託することについて。③市民からの苦情や問い合わせ等の相談窓口の設置について

二、市営住宅の増設とその管理について

①人口増や生活保護制度での住宅扶助費の削減等により市営住宅増設への市民要望の高まりに対してどう対応するか。②市営住宅の管理を民間委託している実態においてどういうメリット及び問題点があると認識しているか。など4点。

三、福祉手当の新条例の施行と健康福祉基金及び各種基金の実体について

①生活保護受給者は即時福祉手当廃止という措置による影響をどう考えるか。など3点を質問しました。

植田和子

こんにちは　植田和子です

11月23日　いつもお疲れ様です。気温の変化が激しい日が続いてますが、体調は大丈夫ですか？先週は、議案説明会、全員協議会、市長との会派別懇談会と、公務が立て続けにありました。この12月議会で、私が担当している教育福祉委員会にかかる議案は、またまた大量の17件で、魔の議会準備に突入しています。12月議会には出ませんが、流山市は、今度は敬老祝金を削減しようとしています。以前は、75歳以上の全ての方に支給されていました。H10年に、77歳（喜寿）1万円、88歳（米寿）2万円、99歳（白寿）3万円、100歳以上は5万円、となっていましたが、H22年から、77歳の支給を廃止しています。そして今度は、99歳の支給を廃止、100歳以上も廃止したいとのことです。（100歳の5万円で終わりにしたいそうです。市は、パブリックコメントを11月24日～12月24日までの1ヶ月間受け付けています。ご意見のある方は、出してみてください。

12月17日　一般質問の傍聴ありがとうございました。今回も、議案調査の段階で一悶着ありました。詳しくは、議会報告会でお話しします。また、今回、日本共産党市議団は、4本の意見書を提出しましたが、そのうち2本が採択されました。

（2面参照）

ヘッドライト

「片付けようね」というと「これやってから」と別の遊びに逃げを打つ2歳の孫。こんな幼児にもなかなかの知恵がある。苦笑しながら「後で、はダメ」。子供なら笑ってすましても一国の政府となると冗談ではない▼消費税10％へ値上げに協力しておきながら、軽減税率を一枚看板に宣伝する公明党。手柄話にして宣伝しようと、ごり押しして加工食料品まで対象にすることで自民と合意したという▼しかしそれを呑んだ谷垣幹事長のコメントを聞いて耳を疑った。6000億円も税収に穴が空くのをどう埋めるのか？彼はいう「きちっと法律の中に（財源を）書き込んで、来年までに用意する」。つまり「選挙が終わったあとで……」途中経過では自民側がやけっぱちのように外食まで全部と言ったとか▼こんなでたらめは見たことがない。麻生財務大臣も「いきなり数千億以上もの金が出てくるはずはない」と言うように収入の見通しが全くたたないのに軽減税率の宣伝だけが先行。しかも減税どころか増税の一部手直しだけ。その裏では空前のもうけをため込んだ大企業にまたまた減税。この無責任内閣許すべからず。